

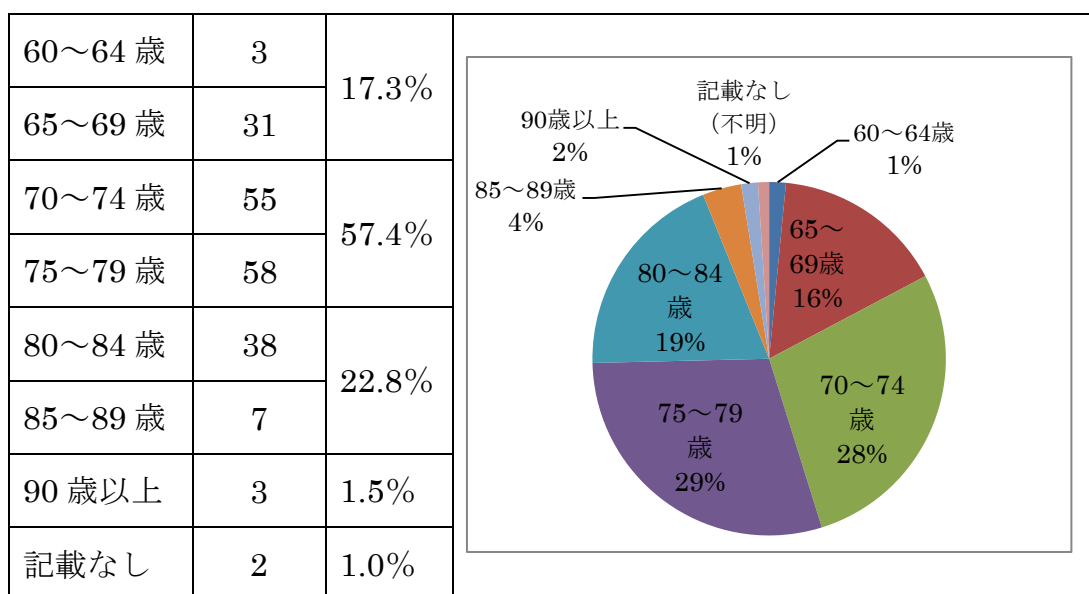
単位クラブ女性会長へのアンケート調査結果（平成 25 年 12 月）

兵庫県老人クラブ連合会

<調査対象 290 名 回答数 197 名 回収率 67.9%>

調査は記述式で実施したため、個々異なった表現であったが、1 の年齢を除いては、県老連事務局で記載された内容を読み取り、ニュアンスの近いものを集めて分類し、統計処理した。（個々の記載内容については今後の参考とさせていただきます。）

1 会長の年齢（単位：人）



女性会長の年齢は 70 歳代が最も多く、6 割弱を占める。次いで 80 歳代、60 歳代と続く。なお、64 歳までの若い会長も 3 名おられたが、若い会員が少ない中で特記すべきことだと思われる。

2 あなたが会長になられたいきさつをお教えてください。

前会長、会員からの指名・選挙等	110	55.8%
解散を防ぐため、新たに発足したため、後任がなくやむなく等	40	20.3%
入会順等	7	3.6%
パソコン、運転ができるため	3	1.5%
無回答、不明等	37	18.8%

前任者の死亡や引っ越し、病気等による会長不在のため、又は前任者の任期が終了したことから、選挙等で会長に選ばれた方が半数を占める。また、役員のみ手がない状況でクラブを存続するため等で会長になられた方が2割あった。少数では入会順で就任された方や、会長はパソコンや運転ができないと困ることからその技能を持っている方が就任された理由があった。

3 女性会長ということでやりにくさを感じたことはございますか。

特になし、無回答	149	75.6%
男性会員に対する気遣いや意見の違い等	34	17.3%
機動性の弱さ、力仕事、家事との両立等	9	4.6%
会員が入会しない、若い人が入会しない	5	2.5%

女性会長ということでやりにくさを感じておられない方が約76%と大半を占めた。やりにくさを感じられている方の理由は、男性会員への気遣いなどの男性会員にまつわる理由と家事との両立や力仕事の苦勞など女性としての特性にまつわる理由があった。

4 女性会長になってよかったと思われることはどんなことですか。(主たる意見を一つ選んだ)

知り合いや経験の幅が広がり勉強になる、会員に喜んでもらえるのがうれしい等	83	42.1%
会が和やかになった、きめ細かい運営ができた、活動に参加する女性が増えた、みんながよく協力してくれる等	68	34.5%
特になし、無回答等	46	23.4%

会長になり知人や経験の幅が広がり、自分の利益になったと感じられている

方が半数近く（約 42%）おられた。また、「会が和やかになった」「きめ細かい運営ができる」「地域事情をよく知っている」「女性ということで協力が得られる」など女性の持つ細やかさや温かさの影響を感じられておられる方が約 35% あった。一方、「特になし」「無回答」の方は約 23%であった。

5 女性の会長が少ない理由は何だと思われますか。（複数回答）

男性優位の風習、男性への遠慮等	53	26.1%
家事が忙しい、家族の理解が得にくい	52	25.6%
男性の方が適性、積極性がない、奉仕の精神がない、パソコン等が苦手	43	21.2%
女性部長があるため、若い会員がいない等	13	6.4%
その他（無回答を含む）	42	20.7%

女性会長の少ない理由としては、大きく 4 つに分類できる。一つは女性は男性に比べ家事等が忙しいなど家庭の事情によるもの、二つ目は男性社会が影響しているというもの、三つ目は女性の性質や特性によると思われるもの、四つ目は、わからないなどその他無回答のものであった。

6 今後、女性の会長を増やすにはどうすればいいと思われますか。(複数回答)

こだわらなくていい、無回答、その他	60	28.7%
会長の仕事を減らす、会長になってよかったという仕組みを作る	32	15.3%
女性の若手会員を増やす、後任を計画的に育てる等	29	13.9%
女性の地位の向上、意識改革、積極性・行動力をつける等	27	12.9%
女性会長会・部会の活性化、女性が楽しめる活動を増やす、会長自身が楽しむ等	18	8.6%
今後時代の流れで女性会長が増えていく	15	7.2%
男女で1年交替、選挙で選出など規約を改正する、女性部をなくす等	11	5.3%
男性が理解・配慮・協力する	9	4.3%
男性の会長を増やす方がいい	8	3.8%

3割弱の方がこだわらなくていい、わからない、白紙など答えのないものであり、課題の困難さを感じる結果となった。

女性会長を増やす方法については多種類の意見があった。方法論で一番多い(15・3%)のは、会長の仕事を減らす、会長になってよかったという仕組みをつくる等で、会長の仕事が多いことが背景にあると思われる。続いては後任の育成で、女性の若手会員を増やすとともに育成する仕組みをつくるのが大事という意見が約14%あった。次いで、男性中心の社会という意識を講演会等に変える、積極性や男女協働等の意識を持つなど女性自身の変革が必要という意見が13%近くあった。また、時代の流れとともに意識が変わっていくため、自然と女性会長が増えていくだろうという意見や規約を変えることによって女性の会長が増やせるという意見、むしろ男性の会長を増やす方がいいという意見

も1割に満たないがあった。

<考察>

女性会員の割合に比べ、女性会長の割合が極端に少ないことから、その原因を探り、役員のみ手が無いという理由でクラブを解散する状況を阻止する目的で調査を実施した。結果、解散を防ぐために会長に就任したという会長が約2割おられたことは喜ばしいことであり、他の理由を記載された方の中にも解散防止のためやむなく、あるいは踏ん張って会長に就任したと言われる方がおられるのではないと思われる。

女性は男性より家事に追われる時間が多く、会長は男性になるものという風潮がなお強い状況の中で、女性会長の負担や困りごとを危惧していたが、「女性会長ということでのやりにくさ」については大半の方が「やりにくくはない」と感じておられ、「会長になってよかったこと」の設問の答えでは、「自分の勉強になった」「人間関係が広がった」など、自分自身の利益になることや女性の細やかさや温かさからくるクラブ自体の雰囲気や運営にいい影響を与えたという回答が多くみられ、女性が会長になられて問題が起こるといよりも個人や組織にプラスになるということがこのアンケート結果では推察できる。

しかし、中には男性会員への遠慮から精神的な負担になっておられる方もあり、「今後女性会長を増やすためには」という回答に、会長の仕事の軽減や会員の協力が必要という回答があることから、みんなで協力する組織をなお求めていく必要がある。

女性会長が少ない理由には、一つは男性社会という風潮（社会の意識）と女性自身が会長になりたがらない（個人の意識）問題がある。これを解決するためには、意識改革が求められ、「時代の流れとともに意識は変わっていくだろう」

という回答もあったが、男女協働参画等について研修会等で講義やグループ討議などで学んでいくことも必要かもしれない。

最後に、会長について、もっと女性の地位の向上をと言われる方もあれば、男性の方が会長に向いているという意見もあった。様々な考え方はあると思われるが、「男性、女性なんて関係ない。問題は人柄、人格だと思います」という趣旨の意見もあったことを付記しておきたい。